

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学(交換留学)月例報告書 (8月分)

留学先大学: Chulalongkorn University

氏名: 井口 健

### <はじめに>

こんにちは、国際地域学部の井口健と申します。私が今月から留学しているのは、タイのバンコクに位置するチュラロンコン大学というところです。学生数は2万人で、タイの東大とも言われているそうです。正直、留学に来る前は「タイの東大とかかっこいい〜」くらいしか思っていなかったのですが、来てからはやはり自分とはとんでもないところに来てしまったなと思うばかりです。キャンパスはバンコクの中心に位置していて、10分も歩けばモールが何個も立ち並ぶサイアムスクエアというところに行くことができ基本何でもあります。

### <学校生活>

今季は5つクラスをとりました。一つのクラス3単位なので単位数は15単位です。ちなみにタイの授業は1コマ3時間で途中に休憩が入るといった感じです。授業時間は日本の2倍なのに単位は1.5倍なのが気持ち的に少し複雑です。基本は午前1コマ、午後1コマというような時間割になっているので自然と全休が出来上がります。私の場合は水金が全休になるので、1週間で学校に行くのは3日だけです。授業は意外と課題が出ず、日本にいるとき特に真面目でもなかった私でさえ物足りなさを感じるレベルです。しかし、やはり授業は英語で行われるだけあって授業中はかなりエネルギーを使う印象があります。また、タイの大学には制服があり毎日服を選ぶ必要がなく意思決定の手間が省けるのはお気に入りポイントです。ちなみに、女子のスカートは中学生が履くようなひざ下のスカート（通称：中学生スカート）と黒いタイトのスカート（通称：セクシースカート）があり、学年が上がることでセクシースカートを履けるようになるという不文律のようなものがあるそうです。

### <学外生活>

私が留学をしてからずっと意識していることは日本人と過ごす時間と、ほかの国の人と過ごす時間のバランスです。留学に行っても日本人同士で群れていては意味がないというのはよく聞く話ですが、私が所属するBALACの交換留学生のうち約

半分は日本人で、さらに同じ寮に住んでいるので関わらないというのも厳しい面があります。また、チュラにはやはり各大学の優秀な学生が集まっており、帰国子女の学生やIELTS、TOEFL ibt でとても高い点数持っている人も多いので彼らからも日々多くの刺激をもらっています。とは言ってもずっと日本人といるのは留学に来ているのにもったいないので、日本人以外のコミュニティ持とうと努力もしています。まず一つ目は大学近くのカフェで週に二回無料で英語のクラスがあり、ネイティブとタイ人が参加者のほとんどですが日本人一人で頑張って通っています。また、先日は留学生と現地の学生が交流する Interact Day というイベントがあり、かなり大規模で作り込んでいる盛りだくさんの内容でした。今週はそこで仲良くなった友達数人で映画を観に行く予定です。また、これは日本にいたときからできたことなのですが、オンライン英会話も今更になって始めてみました。BALAC はインターナショナルプログラムなので、学生もみんなインターナショナルスクール上がりか帰国子女です。（ほかの日本人も含めそんな感じ。）圧倒的に英語力不足を感じているので、これから留学する人は授業を受ける言語で最低限議論できるようになっていたほうがいいと思います。最近の日課は、夕ご飯を食べた後に寮の隣にある公園を散歩することです。去年、大学創立 100 周年を迎えた記念に作られた公園なのでものとても新しく整っています。

<最後に>

日本人と過ごす時間と他の国や現地の学生と過ごす時間のバランスの話をしました。正直バランスの問題ではなく一ヶ月でかなり慣れてしまい自分に甘くなっている気がします。毎月の目標をもっと厳しくします。ちなみに8月の目標は「毎日英語で日記をつける」でした。写真は先日の Interact Day で同じチームだったメンバーとの写真と大学近くのサイアムスクエアからの写真です。

